

## 道路予算

## 民主要望で配分に格差

10年度鳥取20%・福井10%増

国会で審議中の2010年度予算案に盛り込んだ道路整備事業で、鳥取や福井などで昨年11月の国土交通省による仮配分時より増額となっていることが分かった。民主党は概算要求締め切り後に地方自治体や団体の陳情を一元的に取りまとめており、公共事業の予算配分方針（個所付け）に際して党側の要望を反映し、濃淡がついていることが鮮明になった。（個所付けは3面「きょうのこぼれ」参照）関連記事2面に

## 地方の陳情に応える

日本経済新聞社が、昨年11月に国土交通省が仮配分した予算額と増減を比較した。道路整備予算は昨年10月の概算要求見直し府が野党に開示した個所付けの資料を分析し、昨

道路予算が  
増減した自治体

| ▼増額した主な自治体 |            |
|------------|------------|
| 増額事業       |            |
| 鳥取         | 中山・名和道路    |
| 京都         | 京都第2外環状道路  |
| 福井         | 大野油坂道路     |
| 長野         | 飯倉道路       |
| 東京         | 日野バイパス     |
| ▼減額した主な自治体 |            |
| 凍結候補事業     |            |
| 沖縄         | 嘉手納バイパス    |
| 福島         | 郡山バイパス(休止) |
| 広島         | 西条バイパス     |
| 奈良         | 斑鳩バイパス     |
| 愛媛         | 小松バイパス     |

(注) 昨年11月の仮配分の金額と、政府が国会に提出した「個所付け」案を比較

増額となったのは鳥取、道9号中山・名和道路は京都、福井など。特に鳥取は約20%の大幅増となる結果となり、国道9号凍結候補だった鳥取西道路(Ⅲ期)も凍結候補だった

結対家から外れた。鳥取県庁は「工事を前提として臨時職員を雇っていたので、予算が付けなければ雇用問題に発展すると考えた」と歓迎している。山陰では鳥取と鳥根を結ぶ高速道路が寸断されている。前原誠司国交相は「ミッシング・リンク(失われた輪)をどうつなぐかを最優先に考えていかなくてはならない」との考えを示しており、

途切れた高速道路を抱える鳥取に有利に働いた。全体でも凍結候補は大幅に減少した。ただ、増額には政治的側面もありそうだ。鳥取は民主党が自民党からの議席奪取を狙う重点選挙区の一つ。県選出の川上

義博参院議員は1月15日に平井伸治知事を伴い、国交相ら国交省幹部と会談するなど、予算増額を積極的に働きかけた。昨年の衆院選で3選挙区で民主党が全敗した福井も仮配分より約10%の増額。凍結候補となっていた国道158号大野油坂道路や国道27号美浜東バイパスで1億円程度予算が計上された。

小沢一郎民主党幹事長の地元である岩手も増額だった。凍結候補が復活となった路線はなかったものの「1億〜3億円」とされた国道45号尾肝要道路が「6億〜8億円」と大幅に増えた。

個所付けを巡っては、国交省から情報を得た民主党が1月末に地方組織を党本部に集めて事前に資料を提示した。県選出の中には内容を公表した

り、自治体に伝えたりするところもあった。自民党政権時代は、予算成立後に個所付けを政府が自治体に報告してい

公共事業予算を全国の

どんな事業に、どう配分するかの「個所付け」は、自民党政権時から政治家の影響を測る物差しにもなってきた。例年より2カ月早く明らかになった今回の個所付けにも、民主党が夏の参院選をにらんでメリハリをつけようとした「選挙本位制」がにじむ。(一面参照)

## 公共事業「個所付け」

47都道府県の  
道路整備予算の増減

| ＜15%以上増＞                                                                         |  |
|----------------------------------------------------------------------------------|--|
| 京都、鳥取                                                                            |  |
| ＜10～15%増＞                                                                        |  |
| 福井                                                                               |  |
| ＜5～10%増＞                                                                         |  |
| 東京、長野、佐賀                                                                         |  |
| ＜ほぼ横ばい＞                                                                          |  |
| 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、茨城、栃木、山梨、新潟、富山、石川、福井、岐阜、静岡、愛知、三重、長野、山崎、和歌山、島根、香川、高知、長崎、大分、鹿児島 |  |
| ＜5%以上減＞                                                                          |  |
| 福島、千葉、神奈川、富山、石川、滋賀、大阪、奈良、岡山、広島、山口、愛媛、福岡、宮崎、沖縄                                    |  |

(注) 昨年11月の仮配分と、政府が国会に提出した「個所付け」案を比較

## 民主ににじむ選挙本位

を反映させた。予算が上積みされた地域には、民主党が夏の参院選の重点区と位置付ける県も多かった。鳥取、民主党は坂野重信元自治相の孫である坂野真理氏の擁立を決めている。鳥取選出で自民党を離党した田村耕太郎

## 自治体に力を誇示?

氏も民主党入りし、比例区で出馬する見通しだ。自民党の支持基盤が厚い山陰地方を、鳥取を足場に切り駒をこする民主党の思惑がうかがえる。複数候補を擁立し、独自を指す2人区で増額となった県がある。民主党幹部は「県内でも強い地域、首長には泣いてもいい、弱いところには手厚くした」と語る。自民党政権でも与党の政治家は公共事業の個所付けを力の源泉としてきた。特に地方自治体はど

NEに